# 令和3年度 真木地区簡易水道施設整備工事 (桑西水源取水施設工)

数量計算書

大月市役所 産業建設部 地域整備課

#### 真木地区簡易水道施設整備工事 (桑西水源取水施設工)

#### 数量計算書 目次

- 1. 桑西水源 さく井工
  - 1-1. 1号井及び3号井さく井工
  - 1-2.2号井さく井工
  - 1-3. さく井工損料日数計算
- 2. 桑西水源接合井工
  - 2-1. 桑西水源接合井本体工
  - 2-2. 桑西水源接合井基礎工
- 3. 桑西水源 場内配管工
  - 3-1. 場内配管材料・労務
  - 3-2. 場内配管土工
- 4. 桑西水源 場内整備工

## 1. 桑西水源 さく井工

## 1-1. 1号井さく井工

No.1

種 別:1-1掘削費(サーフェスケーシング)

名 称	計 算 式	数	量	単位
(労務費)				
	スピンドルA			
	参考値 ケーシング、径350A、深さ100mを基準とする。			
400.4 11 77				
406.4mmサーフェス ケーシング断面積	$0.4064^2 \times \pi / 4 = 0.1297 \text{m}^2$			
350Aケーシング断面積	$0.3556^2 \times \pi / 4 = 0.0993 \text{m}^2$			
掘削断面積比率	0.1297/0.0993 = 1.31			
	【参考值】÷【基準深度】×【設計掘削深度】×【掘削断面積比率】			
	406.4mm×11m			
技師B	$3/100 \times 11 \times 1.31 = 0.4$		0.4	人
さく井主任	$25/100 \times 11 \times 1.31 = 3.6$		4	人
さく井技師	$25/100 \times 11 \times 1.31 = 3.6$		4	人
さく井工	$40/100 \times 11 \times 1.31 = 5.8$		6	人
				:

No.2

種 別:1-2.掘削費(本設ケーシング)

名	称	計 算 式	数	量	単位
(労務費)					
		ケーシング・径200A、深さ100mを基準とする。			
		【参考值】÷【基準深度】×【設計掘削深度】			
		200A 11~40m			
技師B		$2/100 \times (100-29) = 1.4$		1	人
さく井主任		$12/100 \times (100-29) = 8.5$		9	人
さく井技師		$12/100 \times (100-29) = 8.5$		9	人
さく井工		$24/100 \times (100-29) = 17.0$		17	人
					<u> </u>

No.3

種 別:2.材料費

名称	計算式			数	量	単位
(材料費)						
サーフェスケーシング、ハ゜イフ゜	406.4mm 6.0m 片側べベル加工 STK400 滑り止め付				2	本
	11/6	= 1.8				
ケーシング・ハ゜イフ゜	200A 5.5m 片側べベル加工 SGP 滑り止め付 JIS G 3452				6	本
	(30)/5.5	= 5.5				
スクリーン	200A SUS304 連続Vスロット巻線型				2	_本_
	計画井戸構造図の通り	2.00				
遮水用 ベントナイトク・ラヘ・ル	1袋=0.018㎡				12	袋
	サーフェスケーシング部 掘削断面積×充填高(1m)					
	サーフェスケーシング部掘削口径 508mm					
	$0.508^2 \times \pi/4 \times 1$	= 0.203				
	0.203/0.018	= 11.3				
充填砂利					3.1	m³
サーフェスケーシング部 (11m)	$(0.3948^2 - 0.2163^2) \times \pi/4 \times 11$	=	0.94			
本設ケーシング部 (29m)	$(0.3747^2 - 0.2163^2) \times \pi/4 \times 29$	=	2.13			
	合計		3.07			
	200 A FI					
ボトム装置	200A用 SUS304(スクリーン型)				1	個

No.4

種 別:3.消耗材料費

名称	計 算 式	数量	単位
(掘削消耗材料費)			
(サーフェスケーシング)	ケーシング径350A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】×【掘削断面積比率】		
トリコンビット	0~11m 375mm(砂礫)	0.96	個
170000	$6.65/100 \times 11 \times 1.31 = 0.96$	0.30	
スタビライザー	0~11m	0.08	個
	$0.555/100 \times 11 \times 1.31 = 0.080$		
ドリルパイプ類	0~11m	4.6	m
	$31.95/100 \times 11 \times 1.31 = 4.60$		
ベントナイト	0~11m	1.84	t
	$12.8/100 \times 11 \times 1.31 = 1.84$		
調泥剤	上記の20%	1	式
機械・ポンプ	ビット類、スタビライザー、ドリルパイプの合計費 の7%	1	式
スリーブパイプ	609.6mm 損料率50%	1.0	m
消耗品	上記計の5%	1	式

名称	計算式	数量	単位
(掘削消耗材料費)			
(本設ケーシング)	ケーシング、径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
トリコンビット	11~40m 374.7mm	2.0	
	$2.2/100 \times (100-11) = 1.96$		
スタビライザー	11~40m	0.13	個
	$0.15/100 \times (100-11) = 0.134$		
ドリルパイプ類	11~40m	7.6	m
	$8.5/100 \times (100-11) = 7.57$		
ベントナイト	11~40m	3.6	t
	$4/100 \times (100-11) = 3.56$		
調泥剤	上記の20%	1	式
機械・ポンプ	ビット類、スタビライザー、ドリルパイプの合計費 の7%	1	式
消耗品	上記計の5%	1	式

名称	計 第 式	数量	単位
(サーフェスケーシング 挿入消耗材料費)			
	ケーシング、径350A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計挿入深度】×【円周比率】		
406.4mmサーフェスケー シング円周長	$0.4064 \times \pi = 1.277 \text{m}$		
350Aケーシング円周長	$0.3556 \times \pi = 1.117 \text{m}$		
円周比率	1.277/1.117 = 1.14		
溶接棒	φ3.2 STK用 JIS Z 3211	1.	9 kg
	$15/100 \times 11 \times 1.14 = 1.88$		
その他雑費	参考値のとおり 上記費計の10%		1 式

名称	計 算 式	数	量	単位
(本設ケーシング 挿入消 耗材料費)				
	ケーシング、径200A、深さ100mを基準とする。			
	【参考值】÷【基準深度】×【設計掘削深度】			
溶接棒	JIS Z 3221 φ 3.2		2.0	kg
	$5 \times (40/100) = 2.00$			
その他雑費	参考値のとおり 上記費計の10%		1	式

名称	計算式	数量	単位
(動力燃料消耗材料)			
	150kVA×1台(パトロール給油)(131頁第19-1表)		
掘さく時燃料	サーフェスケーシング 用 0~11m、406.4mm (350A,100mを基準とする)	209	L
(サーフェスケーシング)	参考値÷基準深度×実作業深度×掘削断面積比率 1448/100×11×1.31 = 208.7		
掘さく時燃料	本設ケーシング 用12~40m,200A(200A,100mを基準とする)	717	L
(本設ケーシング)	参考値÷基準深度×実作業深度 805/100×(100-11) = 716.5		
サーフェスケーシンク゛。時燃料	サーフェスケーシング 用 406.4mm×0~ 11m(350A,100mを基準とする)	25	L
	参考値÷基準深度×設計挿入深度×円周比率 193/100×11×1.14 = 24.2		
ケーシング 挿入時燃料	  参考値のとおり(200A,100mを基準とする)	54	L
	参考値÷基準深度×設計掘削深度 134/100×40 = 54		
砂利充填時燃料	参考値のとおり(200A,100mを基準とする)	54	L
	参考値÷基準深度×設計掘削深度 134/100×40 = 54		
仕上げ時燃料	仕上げ日数10日(実作業日数)(200A,100mを基準と する)	670	L
	参考値÷基準日数×仕上げ作業日数 スクリーンの長さにより変更 201/3×10 = 670.0		
揚水試験時燃料	参考値のとおり(200A,100mを基準とする)	242	L
	参考値÷基準深度×設計掘削深度 604/100×40 = 242		

No.5

種 別:4.電気(孔内)検層費

名	称	計 算 式	数	量	単位
(労務費)					
技師A				1	人
技師B				1	人
さく井主任				1	人
さく井技士				1	人
さく井工				2	人
消耗品		上記計の5%		1	式

No.6

種 別:5-1.ケーシング挿入費(サーフェスケーシング)

名称	計算式	数	量	単位
(労務費)				
	ケーシング、径350A、深さ100mを基準とする。			
	【参考値】:【基準深度】×【設計挿入深度】×【ケーシング円周比率】			
400 4 14 7 7 7 6				
406.4mmサーフェスケー シング円周長	$0.4064 \times \pi = 1.277 \text{m}$			
350Aケーシング円周長	$0.3556 \times \pi = 1.117 \text{m}$			
円周比率	1.277/1.117 = 1.14			
	406.4mm×0~11m			
技師B	$2/100 \times 11 \times 1.14 = 0.3$		1	人
さく井主任	$2/100 \times 11 \times 1.14 = 0.3$		1	人
さく井技士	$3/100 \times 11 \times 1.14 = 0.4$		1	人
さく井工	$15/100 \times 11 \times 1.14 = 1.9$		2	人
溶接工	$3/100 \times 11 \times 1.14 = 0.4$		1	人

No.7

種 別:5-2.ケーシング挿入費(本設ケーシング)

名	称	計 算 式	数	量	単位
		ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。			
		【参考值】÷【基準深度】×【設計掘削深度】			
(労務費)					
技師B		$2/100 \times 29 = 0.6$		1	人
さく井主任		$2/100 \times 29 = 0.6$		1	人
さく井技師		$1/100 \times 29 = 0.3$		1	人
さく井工		$2/100 \times 29 = 0.6$		1	人
溶接工		$2/100 \times 29 = 0.6$		1	人

No.8

種 別:6.砂利充填・遮水費

名称	計算式		数量	単位
	ケーシング、径200A、深さ100mを基準とする。			
	【参考值】÷【基準深度】×【設計掘削深度】			
(労務費)砂利充填				
技師B	0.37/100×40	= 0.15	0.1	5 人
さく井主任	0.37/100×40	= 0.15	0.1	5 人
さく井技士	0.37/100×40	= 0.15	0.1	5 人
さく井工	$0.75/100 \times 40$	= 0.30	0.3	80 人
(材料費)				
砂利	2号珪砂	= 1.80	1.	.8 m³
(雑材消耗費)				
消耗材料	労務費の5%	= 1.00		1 式
(動力燃料費)				
軽油	67.1÷8.0×2時間	= 16.7	16.	.7 リツ トル
(労務費)遮水				
技師B	2.5/100×40	= 1.00	1.0	0 人
さく井主任	2.5/100×40	= 1.00	1.0	0 人
さく井技士	2.5/100×40	= 1.00	1.0	0 人
さく井工	5/100×40	= 2.00	2.0	0 人

(材料費)				
セメント	2号珪砂	= 61.00	61.0	代
塩ビ管	VP30	= 4.00	4.0	<u> </u>
(九代十十)沙土红 建()				
(雑材消耗費)				
消耗材料	材料費の1%	= 1.00	1	式
(動力燃料費)				
軽油		$67.1 \times 1  \exists = 67.1$	67.1	リツ トル

No.9

種 別:7.仕上費

名称	計算式	数量	単位
(仕上工)	ケーシング・径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考值】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
技師B	$2.4/100 \times 40 = 1.0$	1	人
さく井主任	$7.6/100 \times 40 = 3.0$	3	人
さく井技士	$12.6/100 \times 40 = 5.0$	5	人
さく井工	$12.6/100 \times 40 = 5.0$	5	人
(雑材消耗費)			
消耗材料	労務費の5% = 1.00	1	_式
(動力燃料費)			
軽油	$67.1 \times 7  \exists = 469.7$	469.0	リツトル

No.10

種 別:8.揚水試験費

名	称	計 算 式	数	量	単位
		段階•連続•回復試験			
(労務費)					
主任技師				1	人
技師A				1	人
技師B				3	人
さく井主任				10	人
さく井技士				10	人
さく井工				13	人
(水質検査費)					
水質分析費		原水全項目		1	検体
(雑材消耗費)					
消耗材料		人件費の1% = 1.00		1	式
(動力費)					
軽油		$67.1 \times 7  \exists = 469.7$	40	69.0	リツ トル

No.11

種 別:9.残泥土処理費

名称	計算式		数	量	単位
(産業廃棄物処理)					
大型バキューム処理	処理量/1台当たり7㎡ 24.66/7=4台			4	台
中間処理受諾料金			4	24.7	m³
サーフェスケーシング部掘					
削口径 本設ケーシング部掘削口	508mm				
本設クーンング部掘削口 径 サーフェスケーシング部掘	374.7mr	m			
削深度	計画井戸構造図による 11m				
本設ケーシング部掘削深 度 サーフェスケーシング部	計画井戸構造図による 40-11=29m 29m				
掘削断面積	$0.508^2 \times \pi/4 = 0.203 \mathrm{m}^2$	2			
本設ケーシング部掘削断面積	$0.3747^2 \times \pi/4 = 0.110 \text{m}^2$	2			
サーフェスケーシング部掘削実体積 ①	$0.203 \times 11 = 2.23 \mathrm{m}^2$				
本設部ビット掘削実体積②	$0.110 \times 29 = 3.19 \mathrm{m}^3$				
上記実体積①②に体積増 し係数7を乗じ、泥水を循 環利用するため、0.65を乗 じる。	$(2.23+3.19) \times 7 \times 0.65 = 24.66 \text{m}$	3			
0.00					

No.12

種 別:10.機械組立解体費(仮設費)

名 称	計算式	数	量	単位
(準備)				
技師B			1	人
さく井主任			2	人
さく井技士			1	人
さく井工			2	人
(機械組立解体)	スピンドルA			
技師B			2	人
さく井主任			9	人
さく井技士			10	人
さく井工			15	人
とびエ			6	
設備機械工			5	人
(諸仮設)				
技士B			1	人
電工			3	人
配管工			4	人
普通作業員			5	人
(重機費)				
0.28m <sup>3</sup> バックホウ			3	台

(仮設消耗品)			
消耗材	機械組立解体労務費の7%	1	式
仮設消耗材料費	諸仮設労務費の3%	1	式
(運搬費)			
トラッククレーン	8t スピンドルA	4	月
トラッククレーン	6t	2	月
トラッククレーン	4t	2	日
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	4t	1	台
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	4t	1	台
トラッククレーン	2t	1	台
ダンプトラック	4t	1	台

No.13

種 別:11.機械器具損料

名称	計算式	数量	単位
ロータリーさく井機械	スピンドルA	25.0	日
泥水ポンプ		9.0	目
掘削櫓		25.0	日
電気溶接機		1.0	日
全自動溶接機		2.0	日
工事用サンドポンプ類、他		12.0	日
発電機		16.0	日
仮設・揚水試験用ポンプ		1.0	式
電気検層装置		1.0	日
マッドスクリーン		4.0	日
泥水ミキサー		4.0	月
ウォータースイベル		25.0	日
動力ウインチ		3.0	日
4t車クレーン付		25.0	日
三角堰、揚水管他		10.0	日
ケーシング用器具		2.0	日
さく井機付属小道具		25.0	月
泥水タンク	10㎡×2台	25.0	日
ユニットハウス		25.0	日
ユニットハウス	整備費、組立費、解体費	1.0	式
トイレ	基本料(3ヶ月内の賃料を含む)	1.0	式

No.14

種 別:12.報告書作成費

名	称	計 算 式	数	量	単位
(報告書作成)					
主任技師				1	人
技師A				1	人
技師B				3	人
工事写真				1	式
印刷製本費				3	部
地質標本箱		展示用標本含む		1	式

### 1-2. 2号井さく井工

No.1

種 別:1-1掘削費(サーフェスケーシング)

名 称	計算式	数	量	単位
(労務費)				
	スピンドルA 参考値 ケーシング・径350A、深さ100mを基準とする。			
406.4mmサーフェスケー シング断面積	$0.4064^2 \times \pi / 4 = 0.1297 \text{m}^2$			
350Aケーシング断面積	$0.3556^2 \times \pi/4 = 0.0993 \text{m}^2$			
掘削断面積比率	0.1297/0.0993 = 1.31			
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】×【掘削断面積比率】			
	406.4mm×11m			
技師B	$3/100 \times 11 \times 1.31 = 0.4$		0.4	人
さく井主任	$25/100 \times 11 \times 1.31 = 3.6$		4	人
さく井技師	$25/100 \times 11 \times 1.31 = 3.6$		4	人
さく井工	$40/100 \times 11 \times 1.31 = 5.8$		6	人

No.2

種 別:1-2.掘削費(本設ケーシング)

名	称	計算式	数	量	単位
(労務費)					
		ケーシング・径200A、深さ100mを基準とする。			
		【参考值】÷【基準深度】×【設計掘削深度】			
		200A 11~40m			
技師B		$2/100 \times (100-29) = 1.4$		1	人
さく井主任		$12/100 \times (100-29) = 8.5$		9	人
さく井技師		$12/100 \times (100-29) = 8.5$		9	人
さく井工		$24/100 \times (100-29) = 17.0$		17	人

No.3

種 別:2.材料費

名	称	計算式			数	量	単位
(材料費)							
サーフェスケーシン	/グパイプ 	406.4mm 6.0m 片側へへル加工 STK400 滑り止め付				2	本
		11/6 200A 5.5m 片側へベル加工	= 1.8				
ケーシング・パ・イフ	.0	SGP 滑り止め付 JIS G 3452				6	本
		(30)/5.5	= 5.5				
スクリーン		200A SUS304 連続Vスロット巻線型				2	本
·萨 4. 田		計画井戸構造図の通り	2.00				
遮水用 ベントナイトク「ライ	ベル	1袋=0.018㎡				12	袋
		サーフェスケーシング部 掘削断面積×充填高(1m)					
		サーフェスケーシング部掘削口径 508mm					
		$0.508^2 \times \pi/4 \times 1$	= 0.203				
		0.203/0.018	= 11.3				
充填砂利						3.1	m³
サーフェスケ	(11m)	$(0.3948^2 - 0.2163^2) \times \pi/4 \times 11$	=	0.94			
本設ケ	ーシング部 (29m)	$(0.3747^2 - 0.2163^2) \times \pi / 4 \times 29$	=	2.13			
		合計		3.07			
ボトム装置		200A用 SUS304(スクリーン型)				1	個

No.4

種 別:3.消耗材料費

名称	計 算 式	数量	単位
(掘削消耗材料費)			
(サーフェスケーシング)	ケーシング径350A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】×【掘削断面積比率】		
トリコンビット	0~11m 375mm(砂礫)	0.96	個
170000	$6.65/100 \times 11 \times 1.31 = 0.96$	0.30	
スタビライザー	0~11m	0.08	個
	$0.555/100 \times 11 \times 1.31 = 0.080$		
ドリルパイプ類	0~11m	4.6	m
	$31.95/100 \times 11 \times 1.31 = 4.60$		
ベントナイト	0~11m	1.84	t
	$12.8/100 \times 11 \times 1.31 = 1.84$		
調泥剤	上記の20%	1	式
機械・ポンプ	ビット類、スタビライザー、ドリルパイプの合計費 の7%	1	式
スリーブパイプ	609.6mm 損料率50%	1.0	m
消耗品	上記計の5%	1	式

名称	計算式	数量	単位
(掘削消耗材料費)			
(本設ケーシング)	ケーシング 径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
トリコンビット	12~40m 374.7mm	1.9	個
	$2.2/100 \times (100-12) = 1.94$		
スタビライザー	12~40m	0.13	個
	$0.15/100 \times (100-12) = 0.132$		
ドリルパイプ類	12~40m	7.5	m
	$8.5/100 \times (100-12) = 7.48$		
ベントナイト	12~40m	3.5	t
	$4/100 \times (100-12) = 3.52$		
調泥剤	上記の20%	1	式
機械・ポンプ	ビット類、スタビライザー、ドリルパイプの合計費 の7%	1	式
消耗品	上記計の5%	1	式

名称	計 算 式	数	量	単位
(サーフェスケーシング 挿入消耗材料費)				
	ケーシング、径350A、深さ100mを基準とする。			
	【参考值】÷【基準深度】×【設計挿入深度】×【円周比率】			
406.4mmサーフェスケー シング円周長	$0.4064 \times \pi = 1.277 \text{m}$			
350Aケーシング円周長	$0.3556 \times \pi = 1.117 \text{m}$			
円周比率	1.277/1.117 = 1.14			
溶接棒	φ 3.2 STK用 JIS Z 3211		2.1	kg
	$15/100 \times 12 \times 1.14 = 2.05$			
その他雑費	参考値のとおり 上記費計の10%		1	式

名称	計 算 式	数	量	単位
(本設ケーシング 挿入消 耗材料費)				
	ケーシング、径200A、深さ100mを基準とする。			
	【参考值】÷【基準深度】×【設計掘削深度】			
溶接棒	JIS Z 3221 φ 3.2		2.0	kg
	$5 \times (40/100) = 2.00$			
その他雑費	参考値のとおり 上記費計の10%		1	式

名	称	計 算 式	数	量	単位
(動力燃料消耗	材料)				
		150kVA×1台(パトロール給油)(131頁第19-1表)			
掘さく時燃料		サーフェスケーシング 用 0~12m、406.4mm (350A,100mを基準とする)		228	L
(サーフェスケー	シング)	参考値÷基準深度×実作業深度×掘削断面積比率 1448/100×12×1.31 = 227.6			
掘さく時燃料		本設ケーシング 用12~40m,200A(200A,100mを基準とする)		709	L
(本設ケーシング	ブ)	参考値÷基準深度×実作業深度 805/100×(100-12) = 708.4			
サーフェスケーシンク゛	時燃料	サーフェスケーシング 用 406.4mm×0~ 12m(350A,100mを基準とする)		27	L
		参考値÷基準深度×設計挿入深度×円周比率 193/100×12×1.14 = 26.4			
ケーシング 挿入時燃料		  参考値のとおり(200A,100mを基準とする)		54	L
		参考値÷基準深度×設計掘削深度 134/100×40 = 54			
砂利充填時燃料	<b></b>	参考値のとおり(200A,100mを基準とする)		54	L
		参考値÷基準深度×設計掘削深度 134/100×40 = 54			
仕上げ時燃料		仕上げ日数10日(実作業日数)(200A,100mを基準と する)		670	L
		参考値÷基準日数×仕上げ作業日数 スクリーンの長さにより変更 201/3×10 = 670.0			
揚水試験時燃料	<b>斗</b>	参考値のとおり(200A,100mを基準とする)		242	L
		参考値÷基準深度×設計掘削深度 604/100×40 = 242			

No.5

種 別:4.電気検層費

名称	計 算 式	数量	単位
(労務費)			
技師A		1	人
技師B		1	人
さく井主任		1	人
さく井技士		1	人
さく井工		2	人
消耗品	上記計の5%	1	式
付养七百日	上市ビ市「マノジル	1	式

No.6

種 別:5-1.ケーシング挿入費(サーフェスケーシング)

名	称	計算式		数	量	単位
(労務費)						
		ケーシング径350A、深さ100mを基準とする。				
		【参考値】÷【基準深度】×【設計挿入深度】×【ケーシング円周り	北率】			
406.4mmサー シング円周長		$0.4064 \times \pi = 1.27$	7m			
350Aケーシン	グ円周長	$0.3556 \times \pi = 1.11$	7m			
円周比率		1.277/1.117 = 1.14	-			
		406.4mm×0~11m				
技師B		$2/100 \times 11 \times 1.14 = 0.3$			1	人
さく井主任		$2/100 \times 11 \times 1.14 = 0.3$			1	人
さく井技士		$3/100 \times 11 \times 1.14 = 0.4$			1	人
さく井工		$15/100 \times 11 \times 1.14 = 1.9$			2	人
溶接工		$3/100 \times 11 \times 1.14 = 0.4$			1	人
			-			

No.7

種 別:5-2.ケーシング挿入費(本設ケーシング)

名	称	計算式	数	量	単位
		ケーシング・径200A、深さ100mを基準とする。			
		【参考值】÷【基準深度】×【設計掘削深度】			
(労務費)					
技師B		$2/100 \times 29 = 0.6$		1	人
さく井主任		$2/100 \times 29 = 0.6$		1	人
さく井技師		$1/100 \times 29 = 0.3$		1	人
さく井工		$2/100 \times 29 = 0.6$		1	人
溶接工		$2/100 \times 29 = 0.6$		1	人

No.8

種 別:6.砂利充填・遮水費

名称	計算式		数量	単位
	ケーシング、径200A、深さ100mを基準とする。			
	【参考值】÷【基準深度】×【設計掘削深度】			
(労務費)砂利充填				
技師B	0.37/100×40	= 0.15	0.1	5 人
さく井主任	0.37/100×40	= 0.15	0.1	5 人
さく井技士	0.37/100×40	= 0.15	0.1	5 人
さく井工	$0.75/100 \times 40$	= 0.30	0.3	80 人
(材料費)				
砂利	2号珪砂	= 1.80	1.	.8 m³
(雑材消耗費)				
消耗材料	労務費の5%	= 1.00		1 式
(動力燃料費)				
軽油	67.1÷8.0×2時間	= 16.7	16.	.7 リツ トル
(労務費)遮水				
技師B	2.5/100×40	= 1.00	1.0	0 人
さく井主任	2.5/100×40	= 1.00	1.0	0 人
さく井技士	2.5/100×40	= 1.00	1.0	0 人
さく井工	5/100×40	= 2.00	2.0	0 人

(材料費)				
セメント	2号珪砂	= 61.00	61.0	袋
塩ビ管	VP30	= 4.00	4.0	本
(雑材消耗費)				
消耗材料	材料費の1%	= 1.00	1	式
(動力燃料費)				
軽油		$67.1 \times 1  \exists = 67.1$	67.1	リツ トル

No.9

種 別:7.仕上費

名	称	計 算 式	数	量	単位
(仕上工)		ケーシング、径200A、深さ100mを基準とする。			
		【参考值】:【基準深度】×【設計掘削深度】			
技師B		$2.4/100 \times 40 = 1.0$		1	人
さく井主任		$7.6/100 \times 40 = 3.0$		3	人
さく井技士		$12.6/100 \times 40 = 5.0$		5	人
さく井工		$12.6/100 \times 40 = 5.0$		5	人
(雑材消耗費)					
消耗材料		労務費の5% = 1.00		1	式
(動力燃料費)					
軽油		$67.1 \times 7  \exists = 469.7$	46	69.0	リツトル

No.10

種 別:8.揚水試験費

名	称	計算式	数量	量	単位
		段階·連続·回復試験			
(労務費)					
主任技師				1	人
技師A				1	人
技師B				3	人
さく井主任				10	人
さく井技士				10	人
さく井工				13	人
(水質検査費)					
水質分析費		原水全項目		1	検体
(雑材消耗費)					
消耗材料		人件費の1% = 1.00		1	式
(動力費)					
軽油		$67.1 \times 7  \exists = 469.7$	46	9.0	リツトル

No.11

種 別:9.残泥土処理費

名 称	計算式	数量	単位
(産業廃棄物処理)	令和2年度水道事業実務必携134頁 第27表		
大型バキューム処理	処理量/1台当たり7㎡ 25.12/7=4台	4	台
中間処理受諾料金		25.2	m³
サーフェスケーシング部掘			
削口径 本設ケーシング部掘削口 径	508mm 374.7mm		
サーフェスケーシング部掘 削深度			
本設ケーシング部掘削深度	計画井戸構造図による 40-12=28m 28m		
サーフェスケーシング部 掘削断面積	$0.508^2 \times \pi/4 = 0.203 \mathrm{m}^2$		
本設ケーシング部 掘削断面積	$0.3747^2 \times \pi / 4 = 0.110 \text{m}^2$		
サーフェスケーシング部掘削実体積 ① 本設部ビット 掘削実体積	$0.203 \times 12 = 2.44 \mathrm{m}^2$		
2	$0.110 \times 28 = 3.08 \mathrm{m}^3$		
上記実体積①②に体積増 し係数7を乗じ、泥水を循 環利用するため、0.65を乗	$(2.44+3.08) \times 7 \times 0.65 = 25.12 \text{m}$		
じる。			

No.12

種 別:10.機械組立解体費(仮設費)

名 称	計算式	数	量	単位
(準備)				
技師B			1	人
さく井主任			2	人
さく井技士			1	人
さく井工			2	人
(機械組立解体)	スピンドルA			
技師B			2	人
さく井主任			9	人
さく井技士			10	人
さく井工			15	人
とびエ			6	
設備機械工			5	人
(諸仮設)				
技士B			1	人
電工			3	人
配管工			4	人
普通作業員			5	人
(重機費)				
0.28m <sup>3</sup> バックホウ			3	台

(仮設消耗品)			
消耗材	機械組立解体労務費の7%	1	式
仮設消耗材料費	諸仮設労務費の3%	1	式
(運搬費)			
トラッククレーン	8t スピンドルA	4	月
トラッククレーン	6t	2	月
トラッククレーン	4t	2	日
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	4t	1	台
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	4t	1	台
トラッククレーン	2t	1	台
ダンプトラック	4t	1	台

No.13

種 別:11.機械器具損料

名称	計算式	数量	単位
ロータリーさく井機械	スピンドルA	25.0	日
泥水ポンプ		9.0	目
掘削櫓		25.0	日
電気溶接機		1.0	日
全自動溶接機		2.0	日
工事用サンドポンプ類、他		12.0	日
発電機		16.0	日
仮設・揚水試験用ポンプ		1.0	式
電気検層装置		1.0	日
マッドスクリーン		4.0	日
泥水ミキサー		4.0	月
ウォータースイベル		25.0	日
動力ウインチ		3.0	日
4t車クレーン付		25.0	日
三角堰、揚水管他		10.0	日
ケーシング用器具		2.0	日
さく井機付属小道具		25.0	月
泥水タンク	10㎡×2台	25.0	日
ユニットハウス		25.0	日
ユニットハウス	整備費、組立費、解体費	1.0	式
トイレ	基本料(3ヶ月内の賃料を含む)	1.0	式

No.14

種 別:12.報告書作成費

名	称	計 算 式	数	量	単位
(報告書作成)					
主任技師				1	人
技師A				1	人
技師B				3	人
工事写真				1	式
印刷製本費				3	部
地質標本箱		展示用標本含む		1	式

1-3.3号井さく井工

No.1

種 別:1-1掘削費(サーフェスケーシング)

名 称	計 算 式	数	量	単位
(労務費)				
	スピンドルA			
	参考値 ケーシング、径350A、深さ100mを基準とする。			
400.4 11 77				
406.4mmサーフェス ケーシング断面積	$0.4064^2 \times \pi / 4 = 0.1297 \text{m}^2$			
350Aケーシング断面積	$0.3556^2 \times \pi / 4 = 0.0993 \text{m}^2$			
掘削断面積比率	0.1297/0.0993 = 1.31			
	【参考值】÷【基準深度】×【設計掘削深度】×【掘削断面積比率】			
	406.4mm×11m			
技師B	$3/100 \times 11 \times 1.31 = 0.4$		0.4	人
さく井主任	$25/100 \times 11 \times 1.31 = 3.6$		4	人
さく井技師	$25/100 \times 11 \times 1.31 = 3.6$		4	人
さく井工	$40/100 \times 11 \times 1.31 = 5.8$		6	人
				:

No.2

種 別:1-2.掘削費(本設ケーシング)

名	称	計 算 式	数	量	単位
(労務費)					
		ケーシング・径200A、深さ100mを基準とする。			
		【参考值】÷【基準深度】×【設計掘削深度】			
		200A 11~40m			
技師B		$2/100 \times (100-29) = 1.4$		1	人
さく井主任		$12/100 \times (100-29) = 8.5$		9	人
さく井技師		$12/100 \times (100-29) = 8.5$		9	人
さく井工		$24/100 \times (100-29) = 17.0$		17	人
					<u> </u>

No.3

種 別:2.材料費

名	称	計算式			数	量	単位
(材料費)							
サーフェスケーシング	ケッパイプ	406.4mm 6.0m 片側べベル加工 STK400 滑り止め付				2	_本_
ケーシンケ゛パ゜イプ゜		11/6 200A 5.5m 片側へベル加工 SGP 滑り止め付 JIS G 3452	= 1.8			6	本
7-227 11		SGP 信り正めか JIS G 3452 (30)/5.5	= 5.5			0	— 华
スクリーン		200A SUS304 連続Vスロット巻線型				2	_本_
遮水用		計画井戸構造図の通り	2.00				
ベントナイトグラへ	<i>`,</i> \\	1袋=0.018㎡ サーフェスケーシング部 掘削断面積×充填高(1m) サーフェスケーシング部掘削口径				12	袋
		508mm					
		$0.508^2 \times \pi/4 \times 1$	= 0.203				
		0.203/0.018	= 11.3				
充填砂利	٠ , ١٨٠					3.1	m³
サーフェスケー	(11m)	$(0.3948^2 - 0.2163^2) \times \pi/4 \times 11$	=	0.94			
本設ケー	ーシング部 (29m)	$(0.3747^2 - 0.2163^2) \times \pi/4 \times 29$	=	2.13			
		合計		3.07			
ボトム装置		200A用 SUS304(スクリーン型)				1	個

No.4

種 別:3.消耗材料費

名称	計 算 式	数量	単位
(掘削消耗材料費)			
(サーフェスケーシング)	ケーシング径350A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】×【掘削断面積比率】		
トリコンビット	0~11m 375mm(砂礫)	0.96	個
170000	$6.65/100 \times 11 \times 1.31 = 0.96$	0.30	
スタビライザー	0~11m	0.08	個
	$0.555/100 \times 11 \times 1.31 = 0.080$		
ドリルパイプ類	0~11m	4.6	m
	$31.95/100 \times 11 \times 1.31 = 4.60$		
ベントナイト	0~11m	1.84	t
	$12.8/100 \times 11 \times 1.31 = 1.84$		
調泥剤	上記の20%	1	式
機械・ポンプ	ビット類、スタビライザー、ドリルパイプの合計費 の7%	1	式
スリーブパイプ	609.6mm 損料率50%	1.0	m
消耗品	上記計の5%	1	式

名称	計算式	数量	単位
(掘削消耗材料費)			
(本設ケーシング)	ケーシング、径200A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計掘削深度】		
トリコンビット	11~40m 374.7mm	2.0	
	$2.2/100 \times (100-11) = 1.96$		
スタビライザー	11~40m	0.13	個
	$0.15/100 \times (100-11) = 0.134$		
ドリルパイプ類	11~40m	7.6	m
	$8.5/100 \times (100-11) = 7.57$		
ベントナイト	11~40m	3.6	t
	$4/100 \times (100-11) = 3.56$		
調泥剤	上記の20%	1	式
機械・ポンプ	ビット類、スタビライザー、ドリルパイプの合計費 の7%	1	式
消耗品	上記計の5%	1	式

名称	計 第 式	数量	単位
(サーフェスケーシング 挿入消耗材料費)			
	ケーシング、径350A、深さ100mを基準とする。		
	【参考値】÷【基準深度】×【設計挿入深度】×【円周比率】		
406.4mmサーフェスケー シング円周長	$0.4064 \times \pi = 1.277 \text{m}$		
350Aケーシング円周長	$0.3556 \times \pi = 1.117 \text{m}$		
円周比率	1.277/1.117 = 1.14		
溶接棒	φ3.2 STK用 JIS Z 3211	1.	9 kg
	$15/100 \times 11 \times 1.14 = 1.88$		
その他雑費	参考値のとおり 上記費計の10%		1 式

名称	計 算 式	数	量	単位
(本設ケーシング 挿入消 耗材料費)				
	ケーシング、径200A、深さ100mを基準とする。			
	【参考值】÷【基準深度】×【設計掘削深度】			
溶接棒	JIS Z 3221 φ 3.2		2.0	kg
	$5 \times (40/100) = 2.00$			
その他雑費	参考値のとおり 上記費計の10%		1	式

名称	計算式	数量	単位
(動力燃料消耗材料)			
	150kVA×1台(パトロール給油)(131頁第19-1表)		
掘さく時燃料	サーフェスケーシング 用 0~11m、406.4mm (350A,100mを基準とする)	209	L
(サーフェスケーシング)	参考値÷基準深度×実作業深度×掘削断面積比率 1448/100×11×1.31 = 208.7		
掘さく時燃料	本設ケーシング 用12~40m,200A(200A,100mを基準とする)	717	L
(本設ケーシング)	参考値÷基準深度×実作業深度 805/100×(100-11) = 716.5		
サーフェスケーシンク゛。時燃料	サーフェスケーシング 用 406.4mm×0~ 11m(350A,100mを基準とする)	25	L
	参考値÷基準深度×設計挿入深度×円周比率 193/100×11×1.14 = 24.2		
ケーシング 挿入時燃料	  参考値のとおり(200A,100mを基準とする)	54	L
	参考値÷基準深度×設計掘削深度 134/100×40 = 54		
砂利充填時燃料	参考値のとおり(200A,100mを基準とする)	54	L
	参考値÷基準深度×設計掘削深度 134/100×40 = 54		
仕上げ時燃料	仕上げ日数10日(実作業日数)(200A,100mを基準と する)	670	L
	参考値÷基準日数×仕上げ作業日数 スクリーンの長さにより変更 201/3×10 = 670.0		
揚水試験時燃料	参考値のとおり(200A,100mを基準とする)	242	L
	参考値÷基準深度×設計掘削深度 604/100×40 = 242		

No.5

種 別:4.電気(孔内)検層費

名	称	計 算 式	数	量	単位
(労務費)					
技師A				1	人
技師B				1	人
さく井主任				1	人
さく井技士				1	人
さく井工				2	人
消耗品		上記計の5%		1	式

No.6

種 別:5-1.ケーシング挿入費(サーフェスケーシング)

名称	計算式	数	量	単位
(労務費)				
	ケーシング、径350A、深さ100mを基準とする。			
	【参考値】:【基準深度】×【設計挿入深度】×【ケーシング円周比率】			
400 4 14 7 7 7 6				
406.4mmサーフェスケー シング円周長	$0.4064 \times \pi = 1.277 \text{m}$			
350Aケーシング円周長	$0.3556 \times \pi = 1.117 \text{m}$			
円周比率	1.277/1.117 = 1.14			
	406.4mm×0~11m			
技師B	$2/100 \times 11 \times 1.14 = 0.3$		1	人
さく井主任	$2/100 \times 11 \times 1.14 = 0.3$		1	人
さく井技士	$3/100 \times 11 \times 1.14 = 0.4$		1	人
さく井工	$15/100 \times 11 \times 1.14 = 1.9$		2	人
溶接工	$3/100 \times 11 \times 1.14 = 0.4$		1	人

No.7

種 別:5-2.ケーシング挿入費(本設ケーシング)

名	称	計 算 式	数	量	単位
		ケーシング径200A、深さ100mを基準とする。			
		【参考值】÷【基準深度】×【設計掘削深度】			
(労務費)					
技師B		$2/100 \times 29 = 0.6$		1	人
さく井主任		$2/100 \times 29 = 0.6$		1	人
さく井技師		$1/100 \times 29 = 0.3$		1	人
さく井工		$2/100 \times 29 = 0.6$		1	人
溶接工		$2/100 \times 29 = 0.6$		1	人

No.8

種 別:6.砂利充填・遮水費

名称	計算式		数量	単位
	ケーシング、径200A、深さ100mを基準とする。			
	【参考值】÷【基準深度】×【設計掘削深度】			
(労務費)砂利充填				
技師B	0.37/100×40	= 0.15	0.1	5 人
さく井主任	0.37/100×40	= 0.15	0.1	5 人
さく井技士	0.37/100×40	= 0.15	0.1	5 人
さく井工	$0.75/100 \times 40$	= 0.30	0.3	80 人
(材料費)				
砂利	2号珪砂	= 1.80	1.	.8 m³
(雑材消耗費)				
消耗材料	労務費の5%	= 1.00		1 式
(動力燃料費)				
軽油	67.1÷8.0×2時間	= 16.7	16.	.7 リツ トル
(労務費)遮水				
技師B	2.5/100×40	= 1.00	1.0	0 人
さく井主任	2.5/100×40	= 1.00	1.0	0 人
さく井技士	2.5/100×40	= 1.00	1.0	0 人
さく井工	5/100×40	= 2.00	2.0	0 人

(材料費)				
セメント	2号珪砂	= 61.00	61.0	袋
塩ビ管	VP30	= 4.00	4.0	本
(雑材消耗費)				
消耗材料	材料費の1%	= 1.00	1	式
(動力燃料費)				
軽油		$67.1 \times 1  \exists = 67.1$	67.1	リツ トル

No.9

種 別:7.仕上費

名	称	計 算 式	数	量	単位
(仕上工)		ケーシング、径200A、深さ100mを基準とする。			
		【参考值】:【基準深度】×【設計掘削深度】			
技師B		$2.4/100 \times 40 = 1.0$		1	人
さく井主任		$7.6/100 \times 40 = 3.0$		3	人
さく井技士		$12.6/100 \times 40 = 5.0$		5	人
さく井工		$12.6/100 \times 40 = 5.0$		5	人
(雑材消耗費)					
消耗材料		労務費の5% = 1.00		1	式
(動力燃料費)					
軽油		$67.1 \times 7  \exists = 469.7$	46	69.0	リツトル

No.10

種 別:8.揚水試験費

名	称	計 算 式	数	量	単位
		段階•連続•回復試験			
(労務費)					
主任技師				1	人
技師A				1	人
技師B				3	人
さく井主任				10	人
さく井技士				10	人
さく井工				13	人
(水質検査費)					
水質分析費		原水全項目		1	検体
(雑材消耗費)					
消耗材料		人件費の1% = 1.00		1	式
(動力費)					
軽油		$67.1 \times 7  \exists = 469.7$	40	69.0	リツ トル

No.11

種 別:9.残泥土処理費

名称	計算式		数	量	単位
(産業廃棄物処理)					
大型バキューム処理	処理量/1台当たり7㎡ 24.66/7=4台			4	台
中間処理受諾料金			6	24.7	m³
サーフェスケーシング部掘					
削口径 本設ケーシング部掘削口	508r	nm			
全級ケーシンク部掘削口 径 サーフェスケーシング部掘	374.	7mm			
削深度	計画井戸構造図による 11m				
本設ケーシング部掘削深 度 サーフェスケーシング部	計画井戸構造図による 40-11=29m 29m				
掘削断面積	$0.508^2 \times \pi/4 = 0.20$	3 m²			
本設ケーシング部 掘削断面 積 サーフェスケーシング部	$0.3747^2 \times \pi / 4 = 0.11$	0 m²			
掘削実体積 ① 本設部ビット 掘削実体積	$0.203 \times 11 = 2.23$	m²			
2	$0.110 \times 29 = 3.19$	m³			
上記実体積①②に体積増 し係数7を乗じ、泥水を循 環利用するため、0.65を乗 じる。	$(2.23+3.19) \times 7 \times 0.65 = 24.6$	6 m³			

No.12

種 別:10.機械組立解体費(仮設費)

名称	計算式	数	量	単位
(準備)				
技師B			1	人
さく井主任			2	人
さく井技士			1	人
さく井工			2	人
(機械組立解体)	スピンドルA			
技師B			2	人
さく井主任			9	人
さく井技士			10	人
さく井工			15	人
とびエ			6	
設備機械工			5	人
(諸仮設)				
技士B			1	人
電工			3	人
配管工			4	人
普通作業員			5	人
(重機費)				
0.28m <sup>3</sup> バックホウ			3	台

(仮設消耗品)			
消耗材	機械組立解体労務費の7%	1	式
仮設消耗材料費	諸仮設労務費の3%	1	式
(運搬費)			
トラッククレーン	8t スピンドルA	4	日
トラッククレーン	6t	2	月
トラッククレーン	4t	2	日
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	4t	1	台
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	6t	1	台
トラッククレーン	4t	1	台
トラッククレーン	2t	1	台
ダンプトラック	4t	1	台

No.13

種 別:11.機械器具損料

名称	計算式	数量	単位
ロータリーさく井機械	スピンドルA	25.0	日
泥水ポンプ		9.0	目
掘削櫓		25.0	日
電気溶接機		1.0	日
全自動溶接機		2.0	日
工事用サンドポンプ類、他		12.0	日
発電機		16.0	日
仮設・揚水試験用ポンプ		1.0	式
電気検層装置		1.0	日
マッドスクリーン		4.0	日
泥水ミキサー		4.0	月
ウォータースイベル		25.0	日
動力ウインチ		3.0	日
4t車クレーン付		25.0	日
三角堰、揚水管他		10.0	日
ケーシング用器具		2.0	日
さく井機付属小道具		25.0	月
泥水タンク	10㎡×2台	25.0	日
ユニットハウス		25.0	日
ユニットハウス	整備費、組立費、解体費	1.0	式
トイレ	基本料(3ヶ月内の賃料を含む)	1.0	式

No.14

種 別:12.報告書作成費

名	称	計 算 式	数	量	単位
(報告書作成)					
主任技師				1	人
技師A				1	人
技師B				3	人
工事写真				1	式
印刷製本費				3	部
地質標本箱		展示用標本含む		1	式

## 1-4. さく井工損料日数計算

エ 種 さく井工		さく井工損料日数計算			
名称	 形状•寸法	計算式	数量	単位	摘要
機械器具損料					
ロータリーさく井機		① ② 11 14	25.0	日	
泥水ポンプ		① ② 4 5	9.0	日	
掘さく櫓		① ② 11 14	25.0	日	
電気溶接機	定格二次電流300A	1	1.0	目	
全自動溶接機		4	4.0	日	
工事用サンドポンプ類他	φ 150×11kW	① ② 6 6	12.0	日	
発電機		① ② 8 8	16.0	目	
仮設・揚水試験用ポンプ		1	1.0	式	
電気検層装置	自動検層装置	③ 1	1.0	日	
マッドスクリーン		① ② 2 2	4.0	日	
	AC200V 11kW	① ② 2 2	4.0	日	
ウォータスイベル		① ② 11 14	25.0	日	
動力ウインチ		① ② 1 2	3.0	目	

エ 種 さく井工		数 量 計 算 書			
名 称	形状·寸法	計 算 式	数量	単位	摘要
4t車クレーン付	11	② 14	25.0	日	
三角堰、揚水管他		6 7 5 5	10.0	日	
ケーシング用器具ケー	ーシングバンド等	4	4.0	日	
さく井付属小道具 工具	具類 11	② 14	25.0	日	
泥水タンク	11	② 14	25.0	日	
ユニットハウス	① 11	② 14	25.0	日	
ユニットハウス 整(f	備費、組立費、解体費		1.0	式	
トイレ			1.0	式	

名称     形状・寸法     計算式     数量単位       ① ロータリー機械据付解体撤去:     11日⑦ 揚水試験 : 5日       ② 据さく(サーフェス挿入含):     14日       ③ 孔内検層 : 1日 (4)ケーシング : 4日       ⑤ 砂利充填 : 1日 (6) 仕上げ : 5日	摘 要
① ロータリー機械据付解体撤去:       11 日 ⑦ 揚水試験       : 5 日         ② 掘さく(サーフェス挿入含):       14 日         ③ 孔内検層       : 1 日         ④ ケーシング       : 4 日         ⑤ 砂利充填       : 1 日	
③ 孔内検層       : 1日         ④ ケーシング       : 4日         ⑤ 砂利充填       : 1日	
④ ケーシング     : 4日       ⑤ 砂利充填     : 1日	
⑤ 砂利充填 : 1日	
⑥ 仕上げ : 5日	
	+

# 2. 桑西水源接合井工

### 2-1. 桑西水源接合井本体工

工 種:	本体工事		
種別	接合井	数量	単位
ステンレスパネルタンク 3.0m×4.0m×高さ3.0m(有 有効容量 25㎡×2池=50m	効水深2.5m)×2池 ㎡以上 確保		
桑西水源接合井 材料費	受台工	1	式
	底版工	1	式
	側板工	1	式
	天井工	1	式
	内部補強工	1	式
	付带工(人孔、通気塔、内梯子、外梯子、手摺、電極口、水位計口)	1	式
	配管工(流入管、流出管、越流管、排水管、連通管)	1	式
桑西水源接合井 労務費	受台工	1	式
	底版工	1	式
	側板工	1	式
	天井工	1	式
	内部補強工	1	式
	付帯工(人孔、通気塔、内梯子、外梯子、手摺、電極口、水位計口)	1	式
	配管工(流入管、流出管、越流管、排水管、連通管)	1	式

## 2-2. 桑西水源接合井基礎工

## 数 量 計 算 書

工 種 :	基礎版	工事				
種別	単位	算	式		数量	Ţ
均しコンクリートエ	m3	σ=18N/mm2 無筋構造物 均しコン				
		本体部				
		$4.200 \times 9.200 \times 0.100$	=	3.864		
		仕切弁部				
		$0.500 \times 1.000 \times 0.100$	=	0.050		
			合計 =	3.914	4.0	)
			□ p1 −	3.914	4.0	,
均し型枠工	m2	均し型枠				
		本体部				
		$(4.200+9.200)\times2\times0.100$	=	2.680		
		仕切弁部				
		$0.500 \times 2 \times 0.100$	=	0.100		
			合計 =	2.780	2.8	₹
			<b>Н</b> Н1	2.100	2.0	
コンクリート工	m3	σ=24N/mm2 鉄筋構造物				
		本体部				
		$4.000 \times 9.000 \times 0.400$	=	14.400		
		仕切弁部				
		$0.500 \times 0.800 \times 0.400$	=	0.160		
		勾配部				
		$4.000 \times 0.030 \times 1/2 \times 9.000$	=	0.540		
		立上り				
		$(0.600+0.570)/2 \times 3.400 \times 0.400 \times 5$	=	3.978		
			<b>∧</b> ∋i	10.070	10.1	
			合計 =	19.078	19.1	

## 数 量 計 算 書

工 種:	基礎版	工事			
種別	単位	算	式		数量
型枠工	m2	鉄筋無筋構造物 H=30m以下			
		本体部			
		$(4.000+9.000)\times2\times0.400$	=	10.400	
		仕切弁部			
		$0.500 \times 2 \times 0.400$	=	0.400	
		勾配部			
		$4.000 \times 0.030 \times 1/2 \times 2$	=	0.120	
		立上り			
		$(0.600+0.570)/2\times3.400\times2\times5$	=	19.890	
		立上り側面			
		$0.600\times0.400\times2\times5$	=	2.400	
			合計 =	33.210	33.2
			Ц Н1	00.210	00.2
跌筋工	t	鉄筋重量表より SD345 D16		1.416	
9 (1) J		7//// 生主人の / 00010 010		1.110	
		鉄筋重量表より SD345 D13		0.107	
		欧加里里次より 50045 015		0.107	
			合計 =	1.523	1.52
				1.020	1.02

# 3. 桑西水源 場内配管工

## 3-1 場内配管材料 劳務

按口升孙小官。这么		単	l	1	数  量			T	
名 称	形状寸法	一位	管長	図面	×	<u> </u>	切管	計	延長
配水用ポリエチレン管 EF片受直管	φ 150 × 5, 000	本	5. 00	16				16	80. 00
配水用ポリエチレン管 EFプレーンエンド直管	φ 150 × 5, 000	本					6	6	26. 31
配水用ポリエチレン管 EF両受チーズ	$\phi$ 150 × $\phi$ 150	個	0. 90	3				3	2. 70
配水用ポリエチレン管 EF両受ベンド	φ 150 × 90°	個	0. 66	9				9	5. 94
配水用ポリエチレン)管 EF片受ベンド	φ 150 × 45°	個	0. 62	2				2	1. 24
配水用ポリエチレン管 EF両受ベンド	φ 150 × 45°	個	0. 46	6				6	2. 76
配水用ポリエチレン管 EFソケット	φ 150	個		3				3	
配水用ポリエチレン管 EFフランジ	φ 150 7.5K SUS	個	0. 34	4				4	1. 36
PE挿口付 ソフトシール仕切弁	φ 150	基	0. 57	2				2	1. 14
仕切弁筐	DPO.6m用 座台共	個		2				2	
フランジ接合材	φ 150	組		4				4	
管保温材	φ 150用	m		6.8	(1. 7*4	1)		6. 8	
<u> </u>	<u> </u>							材彩	·延長

121. 45 121. 45 計 図面延長 誤差

切管調整表 配水用 HPPE管 L=5.0m

り官司	<u>切管調整表 配水用 HPPE管 L=5.0m</u> (φ150)								
	甲切管			乙切管			計	残管	切断工
(接合	井排水管	・越流管	)						
1		3. 260	1. 390				4. 650 m	0.350 m	2 🏻
2		4. 500					4.500 m	0.500 m	1 🗆
3		1. 080	0. 590	0. 640	0. 430	0. 430	3. 170 m	1.830 m	5 □
4		3. 010	0. 420	0. 570	0. 430		4. 430 m	0.570 m	4 🗆
5		4. 130	0. 430				4.560 m	0. 440 m	2 🗆
6		4. 500	0. 500				5.000 m		1 🗆
							00.010	0.000	45 -
 	計	本数(⊄			0		26. 310 m	3. 690 m	15 🏻
		受口	直管 1付直管	=		本 本			
合	計	本数(⊄	150 × 5,	000)					
		     受口	直管 1付直管	=		本 本			

導水管(材料)

HPPE  $\phi$  100

2 14	### D _ L > E	単			数 量			ZT. ■	
名 称	形状寸法	· 位	管長	図面		切管	計	延長	
配水用ポリエチレン管 EF片受直管	$\phi$ 100 × 5, 000	本	5. 00	1			1	5. 00	
配水用ポリエチレン管 EFプレーンエンド直管	φ 100 × 5, 000	本				5	5	19. 70	
配水用ポリエチレン管 EF両受チーズ	φ 100 × φ 100	個	0. 44	1			1	0. 44	
配水用ポリエチレン管EF両受ベンド	φ 100 × 90°	個	0. 50	5			5	2. 50	
配水用ポリエチレン管 EF両受ベンド 配水用ポリエチレン管	φ 100 × 45°	個	0. 38	3			3	1. 14	
EF片受ベンド 配水用ポリエチレン管	φ 100 × 45°	個	0. 49	3			3	1. 47	
EF片受Sベンド 配水用ポリエチレン管	φ 100 × H300	個	0. 79	1			1	0. 79	
EFソケット 配水用ポリエチレン管	φ 100	個		3			3		
EFフランジ 配水用ポリエチレン管	φ 100 7.5K SUS	個	0. 32	2			2	0. 64	
EFキャップ PE挿口付	φ 100	個	0. 12	1			1	0. 12	
ソフトシール仕切弁	φ 100	基	0. 46	2			2	0. 92	
仕切弁筐 	DPO. 6m~0. 90m用 座台共	個		2			2		
フランジ接合材	φ 100 4 100 FB	組		2			2		
管保温材	φ100用	m		3. 8	(1. 9*2)		3. 8		
							J 1 -4-	17 F	
							材料	延長	

 材料延長

 計
 32.72

 図面延長
 32.72

 誤差

切管調整表 配水用 HPPE管 L=5.0m

9) 6 0	問 <u>整表</u>	配水用 1	<u> </u>	2 0. 0111	(φ1	00)			
	甲切管			乙切管			計	残管	切断工
(導水	管)								
1		3. 000	0. 860				3.860 m	1. 140 m	2 🗆
2		3. 540	0. 790				4. 330 m	0.670 m	2 🗆
3		4. 390					4. 390 m	0.610 m	1 🗆
4		2. 740	0. 860				3. 600 m	1.400 m	2 🏻
5		2. 680	0. 840				3. 520 m	1.480 m	2 🏻
							19. 700 m	5. 300 m	9 □
슫	計	本数(⊄	100×5, 直管	000) =	5	本	13. 700 111	0. 000 111	<b>5</b> II
		受口	1付直管			<u>本</u>			
							Γ		
슽	計	本数(⊄	100 × 5,	000)					
		 	直管 1付直管	=		本 本			

#### ろ過流入管(材料) HPPE φ 75

<i>p</i> 14	#2.415.44.54	単			<u> </u>	 数	量		7.T F
名 称	形状寸法	· 位	管長	井1	井2	#3	切管	計	延長
配水用ポリエチレン管 EF片受直管	$\phi$ 75 × 5, 000	本	5. 00	12	7	15		34	170. 00
配水用ポリエチレン管	Ψ 10 × 0, 000	+	0.00	12		13		7	170.00
EFプレーンエンド直管	$\phi$ 75 × 5, 000	本					11	11	52. 04
配水用ポリエチレン管 EF両受チーズ	$\phi$ 75 × $\phi$ 75	個	0. 35	1	1	1		3	1. 05
配水用ポリエチレン管									
EF両受ベンド 配水用ポリエチレン管	φ 75 × 90°	個	0. 44	6	6	6		18	7. 92
EF片受ベンド	$\phi$ 75 × 90°	個	0. 54	1	1	1		3	1. 62
配水用ポリエチレン管					_				
EF両受ベンド 配水用ポリエチレン管	φ 75 × 45°	個	0. 38	4	5	4		13	4. 94
EF片受ベンド	$\phi$ 75 × 45°	個	0. 48	1	1			2	0. 96
配水用ポリエチレン管	. 75	//						_	
EFソケット 配水用ポリエチレン管	φ 75	個		2	1	2		5	
EF片受Sベンド	$\phi$ 75 × 300H	個	0. 78	2	1	1		4	3. 12
配水用ポリエチレン管	4 75 × 200H	/E	0.60		4			4	0.00
EF両受Sベンド 配水用ポリエチレン管	φ 75 × 300H	個	0. 68		1			1	0. 68
EF片受レデューサ	$\phi$ 75 × $\phi$ 50	個	0.34	1	1	1		3	1. 02
配水用ポリエチレン管 EFフランジ	φ 75 7.5K SUS	個	0. 26	2	2	2		6	1. 56
配水用ポリエチレン管	Ψ / 5 / . 5Ν 303	112	0. 20					0	1. 00
EF片受フランジ	φ50 7.5K SUS	個	0. 16	1	1	1		3	0. 48
PE挿口付 ソフトシール仕切弁	φ75	基	0. 40	2	2	2		6	2. 40
			0. 10						2. 10
仕切弁筐	DPO.6m用 座台共	個		2	2	2		6	
フランジ接合材	φ 75	組		2	2	2		6	
フランジ接合材	$\phi$ 50	組		1	1	1		3	
  管保温材	φ75用	m		5. 1	4. 8	5. 1		15	
		$\perp$							
		_							
			<u> </u>					材料	延長

 材料延長

 計
 247.79

 図面延長
 247.79

 誤差

切管調整表 配水用 HPPF管 I=5 0m

<u>切管調整表</u> 配水用 HPPE管 L=5.0m ( φ 75 )									
	 甲切管			乙切管			計	残管	切断工
(1~3	 号導水管	)							
1		4. 240	0. 600				4. 840 m	0. 160 m	2 🏻
2		3. 330	1. 000	0. 600			4. 930 m	0. 070 m	3 □
3		2. 730	1. 730				4. 460 m	0.540 m	2 🏻
4		4. 070	0. 900				4. 970 m	0.030 m	2 🏻
5		2. 730	0. 830	0. 900			4. 460 m	0.540 m	3 □
6		2. 480	1. 050	0. 740	0. 430		4. 700 m	0.300 m	4 🏻
7		4. 600	0. 350				4. 950 m	0.050 m	2 🏻
8		2. 730	0. 600	0. 600	1. 030		4. 960 m	0.040 m	4 🗆
9		2. 500	0. 650	0. 600	0. 600		4. 350 m	0.650 m	4 🗆
10		4. 770					4. 770 m	0. 230 m	1 🗆
11		1. 390	1. 030	1. 630	0. 600		4. 650 m	0.350 m	4 🗆
合	`計	 本数( <i>¢</i> 受□	75×5, ( 直管 1付直管	000)		本 本	52. 040 m	2. 960 m	31 🗆
		Π	1						
——— 合	計	本数(φ	75 × 5, 0	000)					
		       受口	直管 1付直管	=		本 本			

配 水 管 労 務 HPPE  $\phi$ 150

	III			
名 称	形状寸法	単 位	数量	摘  要
ポリエチレン管据付エ	φ 150	m	120. 3	仕切弁 121.45 - 1.14
ポリエチレン管継手エ	φ150 融着接合 2口/ヶ所	ヶ所	21	
ポリエチレン管継手エ	φ150 融着接合 1ロ/ヶ所	П	18	
ポリエチレン管切断エ	φ 150	П	15	
フランジ継手エ	φ 150 7. 5K	П	4	
仕切弁設置工	φ150 HPPE	基	2	
弁筐設置工	座台共 DP=0.60m用	箇所	2	
管明示テープエ	φ 150 W=30mm	m	120. 3	
管明示シートエ	W=400mm ダブル	m	117. 1	
通水試験工	φ150	m	121.5	
管保温工	φ150	m	6.8	

配 水 管 労 務 HPPE  $\phi$ 100

	1	334		
名 称	形状寸法	単 位	数量	摘  要
ポリエチレン管据付エ	φ100	m	31.8	仕切弁 32.72 - 0.92
ポリエチレン管継手エ	∅100 融着接合 2口/ヶ所	ヶ所	13	
ポリエチレン管継手エ	φ 100 融着接合 1ロ/ヶ所	П	5	
ポリエチレン管切断エ	φ 100	П	9	
フランジ継手エ	φ 100 7. 5K	П	2	
仕切弁設置工	φ 100 HPPE	基	2	
弁筐設置工	座台共 DP=0.60m~0.90m用	箇所	2	
管明示テープエ	φ100 W=30mm	m	31.8	
管明示シートエ	W=400mm ダブル	m	30. 0	
通水試験工	φ100	m	32. 7	
管保温工	φ100	m	3. 8	

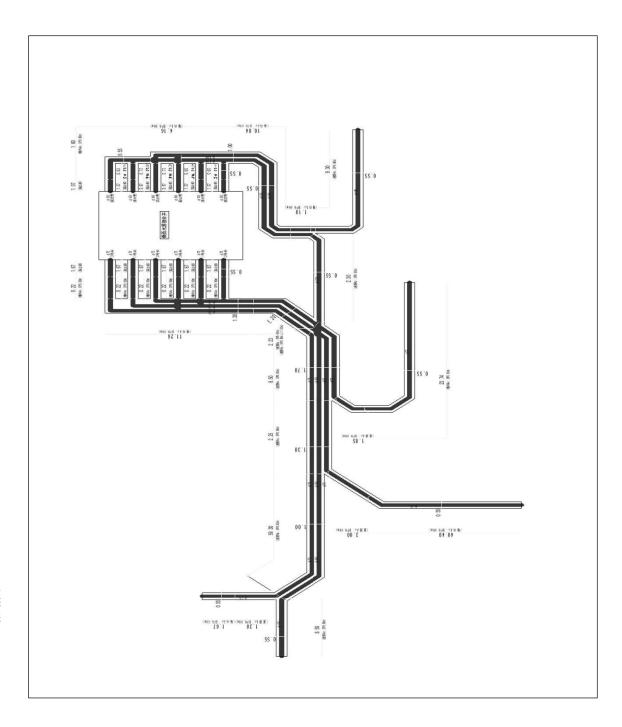
配 水 管 労 務 HPPE  $\phi$ 75

	ΠΓΓΕ Ψ 13			
名 称	形状寸法	単位	数量	摘要
ポリエチレン管据付エ	φ75	m	245. 4	仕切弁 247.79 - 2.4
ポリエチレン管継手工	φ75 融着接合 2ロ/ヶ所	ヶ所	40	
ポリエチレン管継手工	φ75 融着接合 1ロ/ヶ所		46	
ポリエチレン管切断エ	φ75		31	
フランジ継手工	φ75 7. 5K		6	
フランジ継手工	φ 50 7. 5K	п	3	
仕切弁設置工	φ75 HPPE	基	6	
弁筐設置工	座台共 DPO.60m用	箇所	6	
管明示テープエ	φ75 W=30mm	m	245. 4	
管明示シートエ	W=400mm ダブル	m	237. 7	
通水試験工	φ 75	m	247. 8	
管保温工	φ75	m	15. 0	

## 3-2. 場内配管土工

# 桑西水源配管土工延長集計表

名称	口	土被り(m)	タイプ	舗装	掘削帽	掘削機種				掘削	斑			=+(m)
(場内部As舗装)														
配水管(単独掘削)	φ 75	DP=0.60m	-		0.55		0.22	0.22	0.22	0.22	23.74	40.40	1.67	69.99
配水管(単独掘削)	φ 75	DP=0.90m	2		0.55		0.22	0.22						0.44
配水管(単独掘削)	$\phi$ 100	DP=0.90m	က	<u> </u>	0.55		0.70	0.70						1.40
配水管(単独掘削)	$\phi$ 150	DP=0.60m	4		0.55		1.60	0.63	09:0	09:0				3.43
配水管(同時掘削)	$\phi$ 100	DP=0.60m	2		1.00		10.84							10.84
	φ 150	DP=0.60m		As		BH0.2								
时少爷(同时指当)	$\phi$ 100	DP=0.90m	ď		9		4 16							4 16
	$\phi$ 150	DP=0.60m	<b>&gt;</b>		2		) F							r F
	φ 75	DP=0.60m		I										
配水管(同時掘削)	φ 75	DP=0.60m	7		1.30		11.26							11.26
	φ 75	DP=0.60m												
(道路部As舗装)														
配水管(単独掘削)	φ 100	DP=0.60m	∞		0.55		9.30							9.30
配水管(単独掘削)	$\phi$ 150	DP=0.60m	6		0.55		8.50	2.30						10.80
配水管(同時掘削)	φ 75	DP=0.60m	10		1 00		59.30							59.30
	$\phi$ 150	DP=0.60m	2		2									
四十年 (四十二)	φ 100	DP=0.90m	÷		5		1 18							1 1 2
BC기시 본 (14) 4각 개조단기/	$\phi$ 150	DP=0.60m	=		90:		0							0
	φ 75	DP=0.60m		<u> </u>										
配水管(同時掘削)	φ 75	DP=0.60m	12		1.30		0.73							0.73
	φ 75	DP=0.60m												
	φ 75	DP=0.60m		As		BH0.2								
配水管(同時掘削)	φ 75	DP=0.90m	13		1.30		1.50							1.50
	φ 75	DP=0.90m												
	φ 75	DP=0.60m		<u> </u>										
配水管(同時掘削)	φ 75	DP=0.60m	14		1.30		2.25							2.25
	$\phi$ 150	DP=0.60m												
	φ 75	DP=0.60m												
四十年(四十四年)	φ 75	DP=0.60m	<del>π</del>		0,7		1 8 5 C							18 50
	φ 75	DP=0.60m	2		2		2							2
	φ 150	DP=0.60m												



							門大治	配水池配管土.	工集計表	אַעונ								
	4.6	タイプ1	2 L L 4	タイプ3	タイプ4	タイプ5	タイプ6	タイプフ	タイプ8	タイプ9	タイプ10	タイプ11	タイプ12	タイプ13	タイプ14	タイプ15		
	<b>₩</b>	配水管 HPPE																
		φ 75	φ 75	φ100	φ 150	φ 100	φ100	φ 75	φ 100	φ150	φ 75	φ 100	φ75	φ 75	φ 75	φ75		
						φ 150	φ120	φ 75			φ 150	φ 150	φ75	φ 75	ф 75	φ75		
								φ 75					φ75	φ 75	φ 150	φ75	盂	改め
																φ150		
	掘削幅 (m)	0.55	0.55	0.55	0.55	1. 00	1.00	1.30	0.55	0.55	1.00	1. 00	1. 30	1.30	1. 30	1. 70		
	パ ックホウ	0.20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0.20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20		
	土被り(m)	09 '0	06 .0	06.0	09 '0	09 '0	06.0	09.0	09 .0	09.0	09 .0	09 .0	09 '0	09.0	09 .0	09 .0		
							09 .0							06.0				
	証 を を を を を の の の の の の の の の の の の の の	69 '99	0. 44	1.40	3.43	10.84	4.16	11.26	9.30	10.80	59.30	1. 18	0. 73	1.50	2. 25	18.50		
舗装切断工(As)	t≦20cm	133. 38	0.88	2.80	98 .9	21.68	8.32	22. 52	18. 60	21.60	118. 60	2.36	1.46	3.00	4.50	37.00	403.56 m	404 m
舗装版破砕工 (As)	t≦10cm	36. 68	0. 24	0.77	1. 89	10.84	3.54	14. 64	5.12	5.94	62. 27	1. 24	0.95	1. 95	2.93	24.05	173.05 m2	173 m2
舗装殻運搬工	As塊 BHO.2	1. 83	0.01	0.04	0.09	0.54	0. 18	0. 73	0. 26	0.30	3. 11	0.06	0.05	0. 10	0. 15	1. 20	8. 65 m3	9 m3
舗装殻処分工	As塊 BHO.2	4. 30	0.02	0.09	0. 21	1. 27	0.42	1. 72	0.61	0. 71	7. 31	0.14	0.12	0. 24	0.35	2.82	20.33 t	20 t
工順工	機械 BHO.2	27.14	0.25	0.82	1. 57	9.00	3. 78	10.83	3.94	4. 93	51. 68	1.03	0.70	2. 03	2. 43	19.96	140.09 m3	140 m3
埋 戻 工(機械投入)	再生砂 BHO.2	23. 44	0. 23	0.74	1. 31	7. 63	3.32	9. 31	2.61	3. 23	34. 90	0.69	0.46	1. 53	1.64	13.39	104. 43 m3	104 m3
路 鶴 H №≤1.8m	粒調砕石 M-30 t=10cm								5. 12	5.94	62. 27	1.24	0.95	1.95	2. 93	24.05	104. 45 m2	104 m2
路 盤 エ W≤1.8m	粒調砕石 RC-40 t=15cm	36. 68	0. 24	0.77	1.89	10.84	3.54	14. 64									68. 60 m2	69 m2
路 盤 エ W≤1.8m	粒調砕石 RC-40 t=10cm								5. 12	5.94	62. 27	1.24	0.95	1. 95	2. 93	24.05	104. 45 m2	104 m2
維出	再生密粒度 As t=5cm 人力	36. 68	0.24	0.77	1.89	10.84	3.54	14. 64	5. 12	5.94	62. 27	1. 24	0.95	1. 95	2. 93	24.05	173.05 m2	173 m2
残土運搬処分工	土砂 BHO.2	27. 14	0.25	0.82	1. 57	9.00	3. 78	10.83	3.94	4. 93	51. 68	1.03	0.70	2. 03	2. 43	19.96	140.09 m3	140 m3

タイプ1 φ75 As部	DP=0. 60m		BH0. 2			
φ= 75 卸       土被り H= 0.60 m	延長 L= m	66. 69 m	٤	舗装切断工(As) (t=20cm以下)	$66.69 \times 2$	133. 38 m
	開	車		舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	0.55 × 66.69	36. 68 m2
0.05	σ <	σ <	0.04	掘削工(機械)	0.55 × 0.74 × 66.69	27. 14 m3
		路 RC-40	0.10 0.14	再生砂	$(0.55 \times 0.65 - 0.006) \times 66.69$	23. 44 m3
				発生土埋戻工		m3
0. 74			0. 79	路盤工 (M-30 t=00cm)		m2
		再生砂	0.65	路盤工 (RC-40 t=10cm)	0.55 × 66.69	36. 68 m2
COC				<b>舗装工</b> (再生密As t=4cm)	0.55 × 66.69	36. 68 m2
0.030				残土処分工(土砂)	27. 14	27.14 m3
	0.	0. 55	管積 0.006 m2	残土処分工 (As塊)	0.55 × 0.05 × 66.69	1.83 m3 4.30 t

タイプ2 φ100 As部	ß DP=0.60m		BH0. 2			
φ= 75 廻 土被リH= 0.90 m	延長 L= n	0.44 m	٤	舗装切断工(As) (t=20cm以下)	$0.44 \times 2$	0.88 m
	期	車		舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	0.55 × 0.44	0.24 m2
0. 05	σ <b>4</b>	о «	0.04	掘削工(機械)	$0.55 \times 1.04 \times 0.44$	0.25 m3
		路離工 RC-40	0.10 0.14	再生砂	$(0.55 \times 0.95 - 0.006) \times 0.44$	0.23 m3
				発生土埋戻工		m3
1.04			1.09	路盤工 (M-30 t=00cm)		m2
		再生砂	0.95	路盤工 (RC-40 t=10cm)	0. 55 × 0. 44	0.24 m2
				舗装工 (再生密As t=4cm)	0.55 × 0.44	0.24 m2
0.030				残士処分工 (土砂)	0. 25	0.25 m3
	0	0.55	管積 0 006 55	残土処分工 (As塊)	$0.55 \times 0.05 \times 0.44$	0.01 m3

タイプ3 φ100 As部	fß DP=0.90m		BH0. 2			
Φ = 100 卸       土被り H = 0.90 m	延長 L= m	1.40 m	٤	舗装切断工(As) (t=20cm以下)	1.40 × 2	2.80 m
	開	埋		舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	0.55 × 1.40	0.77 m2
0.05	о В	о «	0.04	掘削工(機械)	0.55 × 1.07 × 1.40	0.82 m3
		路盤工 RC-40	0.10 0.14	再生砂	$(0.55 \times 0.98 - 0.011) \times 1.40$	0.74 m3
				発生土埋戻工		m3
1. 07			1.12	路盤工 (M-30 t=00cm)		m2
		再生砂	0.98	路盤工 (RC-40 t=10cm)	0.55 × 1.40	0.77 m2
0 1 20				舗装工 (再生密As t=4cm)	0.55 × 1.40	0.77 m2
0.120				残土処分工 (土砂)	0.82	0.82 m3
	0	0.55	管積 0.011 m2	残土処分工 (As塊)	0.55 × 0.05 × 1.40	0.04 m3
			1			

タイプ4 φ100 As部	崭 DP=1.20m		BH0. 2			
φ=     150 卸       土被り H=     0.60 m	遊長 L=	3.43 m	٤	舗装切断工(As) (t=20cm以下)	$3.43 \times 2$	6.86 m
	單	埋原		舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	0.55 × 3.43	1.89 m2
0. 05	σ 4	σ <b>4</b>	0.04	掘削工(機械)	$0.55 \times 0.83 \times 3.43$	1.57 m3
		路盤工 RC-40	0.10 0.14	再生砂	$(0.55 \times 0.74 - 0.025) \times 3.43$	1.31 m3
				発生土埋戻工		m3
0.83			0 88	路盤工 (M-30 t=00cm)		m2
		再生砂	0.74	路盤工 (RC-40 t=10cm)	0.55 × 3.43	1.89 m2
00				舗装工 (再生密As t=4cm)	0.55 × 3.43	1.89 m2
0.1	1			残士処分工 (土砂)	1. 57	1.57 m3
	0. 55	:5	管積 0. 025 m2	残土処分工 (As塊)	$0.55 \times 0.05 \times 3.43$	0.09 m3 0.21 t

タイプ5	$\phi$ 100 · $\phi$ 150	50 As部	DP=0. 60m	Om	BH0.	. 2				
)   	$\phi = 100 \cdot 150$	50 延長	мм 	10.84 m	٤		舗装切断工(As) (t=20cm以下)	10.84 × 2		21. 68 m
				車			舗装版破砕工(As) (t=10cm以下)	1.00 × 10.84		10.84 m2
0.02		σ <b>4</b>		σ <b>4</b>	0.04		掘削工(機械)	1.00 × 0.83	× 10.84	9.00 m3
				路盤工 RC-40	0. 10 0. 14	4	再生砂	( 1.00 × 0.74	- 0.036)× 10.84	7. 63 m3
							発生土埋戻工			m3
0.83						0.88	路盤工 (M-30 t=00cm)			m2
				再生砂	0. 74	4	路盤工 (RC-40 t=10cm)	1.00 × 10.84		10.84 m2
	6						舗装工 (再生密As t=4cm)	1.00 × 10.84		10.84 m2
_	0.1	<i>)</i>	) \				残士処分工 (土砂)	9.00		9.00 m3
φ100- 0.12	0. 12		1.00		管積 0.025 m2		残土処分工 (As塊)	1.00 × 0.05	× 10.84	0.54 m3 1.27 t
					0.011 m2					

タイプ6	As部	DP=0.90m • 0.60m	BH0. 2			
φ= 100·150 土被リ H= 0.90	00・150 延長 L= 0.90 m( $\phi$ 150-0.60m)	= 4.16 m	٤	舗装切断工(As) (t=20cm以下)	$4.16 \times 2$	8.32 m
	三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三	一 三 三		舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	0.85 × 4.16	3.54 m2
0.05	S A	8	0.04	掘削工(機械)	0.85 × 1.07 × 4.16	3.78 m3
		路盤工 RC-40	0. 10 0. 14	再生砂	$(0.85 \times 0.98 - 0.036) \times 4.16$	3. 32 m3
				発生土埋戻工		m3
1.07			1.12	路盤工 (M-30 t=00cm)		m2
		再生砂	0.98	路盤工 (RC-40 t=10cm)	0.85 × 4.16	3.54 m2
C				舗装工 (再生密As t=4cm)	0.85 × 4.16	3.54 m2
0.120				残土処分工 (土砂)	3.78	3. 78 m3
φ 150- 0, 18	0.85	35	管積 0.011 m2	残土処分工 (As塊)	$0.85 \times 0.05 \times 4.16$	0.18 m3
			0.025 m2			1 1

タイプ7 <i>φ75~3</i> As	As部 DP=0.60m		BH0. 2			
φ= 75~3 土被リ H= 0.60	延長 L=	= 11.26 m	۶	舗装切断工(As) (t=20cm以下)	11.26 × 2	22. 52 m
		型		舗装版破砕工(As) (t=10cm以下)	1.30 × 11.26	14. 64 m2
0.05	σ «	8 <b>4</b>	0.04	掘削工(機械)	1.30 × 0.74 × 11.26	10.83 m3
		路離工 RC-40	0. 10 0. 14	再生砂	$(1.30 \times 0.65 - 0.018) \times 11.26$	9.31 m3
				発生土埋戻工		m3
0.74			0.79	路盤工 (M-30 t=00cm)		m2
		再生砂	0.65	路盤工 (RC-40 t=10cm)	1.30 × 11.26	14.64 m2
C				舗装工 (再生密As t=4cm)	1.30 × 11.26	14. 64 m2
0. 030				残士処分工 (土砂)	10. 83	10.83 m3
φ 75- 0. 09	1. 30		管積 0. 006 m2	残土処分工 (As塊)	$1.30 \times 0.05 \times 11.26$	0.73 m3 1.72 t

タイプ8 <b>φ100 As</b> 曽	As許 DP=0.60m	BH0. 2			
φ=     100 卸       土被り H=     0.60 m	一 二	9. 30 m	舗装切断工(As) (t=20cm以下)	9.30 × 2	18. 60 m
	掘削埋戻		舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	0.55 × 9.30	5.12 m2
0.05	σ <b>4</b>	0.04	掘削工(機械)	$0.55 \times 0.77 \times 9.30$	3.94 m3
	W-30	0.10	再生砂	$(0.55 \times 0.53 - 0.011) \times 9.30$	2.61 m3
	0 0	0.15	発生土埋戻工		m3
0.77		0.82	路盤工 (M-30 t=15cm)	0.55 × 9.30	5. 12 m2
	再生砂	0.53	路盤工 (RC-40 t=10cm)	0.55 × 9.30	5.12 m2
CC			舗装工 (再生密As t=4cm)	$0.55 \times 9.30$	5. 12 m2
0.120			残土処分工 (土砂)	3. 94	3.94 m3
	0. 55	管積 0.011 m2	残土処分工 (As塊)	0.55 × 0.05 × 9.30	0.26 m3 0.61 t

タイプ9 φ150 As部	fß DP=0.60m	BH0. 2			
φ=     150 卸       土被り H=     0.60 m	延長 L= 10.80 m m	٤	舗装切断工(As) (t=20cm以下)	$10.80 \times 2$	21. 60 m
	掘削堆原		舗装版破砕工(As) (t=10cm以下)	0.55 × 10.80	5.94 m2
0.05	s 4	0.04	掘削工(機械)	0.55 × 0.83 × 10.80	4.93 m3
	00 00 00	0. 10	再生砂	$(0.55 \times 0.59 - 0.025) \times 10.80$	3. 23 m3
	2	0. 15	発生土埋戻工		m3
0.83		0.88	路盤工 (M-30 t=15cm)	0.55 × 10.80	5.94 m2
	<b>用生砂</b>	0.59	路盤工 (RC-40 t=10cm)	0.55 × 10.80	5.94 m2
COP			舗装工 (再生密As t=4cm)	0.55 × 10.80	5.94 m2
0.100			残土処分工 (土砂)	4. 93	4.93 m3
	0.55	普積 0. 025 m2	残土処分工 (As塊)	0.55 × 0.05 × 10.80	0.30 m3 0.71 t
		1			

タイプ10 φ75・φ150	iO As部 DP=0.60m	BH0. 2			
φ= 75·150 土被リ H= 0.60	0 延長 L= 59.30 m m	٤	舗装切断工(As) (t=20cm以下)	59.30 × 2	118.60 m
	掘削埋原		舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	1.05 × 59.30	62.27 m2
0.05	As	0.04	工員開	$1.05 \times 0.83 \times 59.30$	51. 68 m3
	M-30		(機械)		
	RC-40	0.29	再生砂	$(1.05 \times 0.59 - 0.031) \times 59.30$	34. 90 m3
		2-	発生土埋戻工		m3
(		0.88		$1.05 \times 59.30$	62.27 m2
0. 83			(M-30 t=15cm)		
	再生砂		路盤工	$1.05 \times 59.30$	62. 27 m2
		0. 59	(RC-40 t=10cm)		
	(		舗装工	$1.05 \times 59.30$	62.27 m2
0 180			(再生密As t=4cm)		
2			残土処分工 (土砂)	51. 68	51.68 m3
-			Ì		
		管積	残土処分工	$1.05 \times 0.05 \times 59.30$	3.11 m3
φ 75- 0. 09	1.05	0.025 m <sup>2</sup>	(As塊)		7.31 t
		0. 006 m2			

タイプ11	150 As部	DP=0. 60m	BH0. 2			
φ= 100·150 土被リ H= 0.60	50 延長) m	L = 1.18 m	٤	舗装切断工(As) (t=20cm以下)	1.18 × 2	2.36 m
	單	— 埋 受		舗装版破砕工(As) (t=10cm以下)	1.05 × 1.18	1.24 m2
0.05	8 8	A S	0.04	H 三 二 二	1.05 × 0.83 × 1.18	1.03 m3
		M-30		(機械)		
		RC-40	0. 23 0. 23	9 世	0.030 - 0.030 - 0.030	0.09 ms
			2	発生土埋戻工		m3
			0.88		$1.05 \times 1.18$	1.24 m2
0. 83				(M-30 t=15cm)		
		再生砂		路盤工	$1.05 \times 1.18$	1.24 m2
			0. 59	(RC-40 t=10cm)		
		(		舗装工	$1.05 \times 1.18$	1.24 m2
0 180				(再生密As t=4cm)		
				残土処分工	1.03	1.03 m3
0.1				(&H)		
			管積	残土処分工	$1.05 \times 0.05 \times 1.18$	0.06 m3
φ 100- 0. 12		1. 05	0.025 m2	(As塊)		0.14 t
			0.011 m2			

タイプ12 <i>φ75~3</i> №	As辪 DP=0.60m		BH0. 2			
φ = 75~3 土被リ H = 0.60	3 延長 L= m	= 0.73 m	٤	舗装切断工(As) (t=20cm以下)	0.73 × 2	1.46 m
		重		舗装版破砕工(As) (t=10cm以下)	1.30 × 0.73	0.95 m2
0.05	о Ч	8 A S	0.04	掘削工(機械)	$1.30 \times 0.74 \times 0.73$	0.70 m3
		5 5	0. 10	再生砂	$(1.30 \times 0.50 - 0.018) \times 0.73$	0.46 m3
		ЖС-40	0. 15	発生土埋戻工		m3
0.74			0.79	路盤工 (M-30 t=15cm)	1.30 × 0.73	0.95 m2
		再生砂	0.50	路盤工 (RC-40 t=10cm)	1.30 × 0.73	0.95 m2
C				舗装工 (再生密As t=4cm)	1.30 × 0.73	0.95 m2
0. 0.0				残士処分工 (土砂)	0.70	0.70 m3
<i>475−0</i> 00	1 30		管積 0 006 ~ 2	残土処分工 (As塊)	1.30 × 0.05 × 0.73	0.05 m3
) )						

タイプ13 φ75~3 A	As者 DP=0.60m·0.90m	0. 90m	BH0. 2			
φ= 75~3 土被リ H= 0.90	75~3 延長0.90 m(0.60m~1)	L = 1.50 m	٤	舗装切断工(As) (t=20cm以下)	1.50 × 2	3.00 m
	遍	車 屈		舗装版破砕工(As) (t=10cm以下)	1.30 × 1.50	1.95 m2
0.05	8	A A	0.04	相削工	1.30 × 1.04 × 1.50	2. 03 m3
		M-30	0. 10 0. 29	再生砂	$(1.30 \times 0.80 - 0.018) \times 1.50$	1. 53 m3
		RC-40	0. 15	発生土埋戻工		m3
1.04			1.09	路盤工 (M-30 t=15cm)	1.30 × 1.50	1.95 m2
		再生砂	0.80	路盤工 (RC-40 t=10cm)	1.30 × 1.50	1.95 m2
c c				舗装工 (再生密As t=4cm)	1.30 × 1.50	1.95 m2
0.090	)			残士処分工 (土砂)	2. 03	2. 03 m3
φ 75- 0.09	1.30	0.	管積 0. 006 m2	残土処分工 (As塊)	1.30 × 0.05 × 1.50	0.10 m3 0.24 t

タイプ14 φ75~2・φ150	As部	DP=0. 60m	BH0. 2			
φ= 75·150 土被リ H= 0.60	٤	延長 L= 2.2	2. 25 m	舗装切断工(As) (t=20cm以下)	$2.25 \times 2$	4. 50 m
	順	一種	阺	舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	1.30 × 2.25	2. 93 m2
0.05	о «	A 8		掘削工(機械)	1.30 × 0.83 × 2.25	2. 43 m3
			0. 10	再生砂	$(1.30 \times 0.59 - 0.037) \times 2.25$	1. 64 m3
		NO-17	0. 15	発生土埋戻工		m3
0.83			Ö	0.88 路盤工 (M-30 t=15cm)	1.30 × 2.25	2. 93 m2
		再生砂	少 0. 59	路盤工 (RC-40 t=10cm)	1.30 × 2.25	2. 93 m2
6				舗装工 (再生密As t=4cm)	1.30 × 2.25	2. 93 m2
0.180				残土処分工 (土砂)	2. 43	2. 43 m3
			鲁	残土処分工	$1.30 \times 0.05 \times 2.25$	0. 15 m3
φ 75- 0.09		1.30	0.025 m2	(As塊)		0.35 t
			0.006 m2			

タイプ15	150 As辪 DP=0.60m		BH0. 2			
<ul><li>φ = 75·150</li><li>土被リ H = 0.60</li></ul>	3	延長 L= 18.50 m	٤	舗装切断工(As) (t=20cm以下)	18.50 × 2	37.00 m
	闸	一種		舗装版破砕工 (As) (t=10cm以下)	1.30 × 18.50	24. 05 m2
0.05	A S	A A	0.04	掘削工	$1.30 \times 0.83 \times 18.50$	19. 96 m3
		M-30	0. 10	(	$(1.30 \times 0.59 - 0.043) \times 18.50$	13. 39 m3
		RC-40	0. 15			
				発生土埋戻工		33
0.83			0.88	路盤工 (M-30 t=15cm)	1.30 × 18.50	24. 05 m2
		再生砂	0.59	路盤工 (RC-40 t=10cm)	1.30 × 18.50	24. 05 m2
S				舗装工 (再生密As t=4cm)	1.30 × 18.50	24. 05 m2
0.180				残士処分工 (土砂)	19. 96	19. 96 m3
			管積	残土処分工	$1.30 \times 0.05 \times 18.50$	1. 20 m3
$\phi$ 75- 0. 09	1.30	0	0.025 m2	(As堀)		2.82 t
			0.006 m2			

# 4. 桑西水源 場内整備工

名称	形状·寸法	数量	単位	in in No.1
1. 資材				
忍返し付フェンス	H=1.8m	76.5	m	
フェンス基礎ブロック	$\square 250 \times 250 \times 450$	39	個	
門扉	H=1.8m W=3.0m	4	組	
			_	
門扉基礎ブロック	$\square 400 \times 400 \times 600$	8	個	
			/	
門扉基礎ブロック	$\square 200 \times 200 \times 200$	4	個	
2. 労務				
2. カ <sup>3</sup> カ フェンス設置工	H=1.8m	76.5	m	
(基礎工事費含む)	11 1.011	10.0	111	
フェンス門扉設置工	H=1.8m W=3.0m	4	箇所	
(基礎工事費含む)				
フェンス撤去工	H=1.8m	10.7	m	
3. 土工				
基礎掘削		6.4	m3	
砕石基礎	RC-40 t=10cm	1.1	m2	
-th-odds 177				
基礎埋戻	発生土	4.5	m3	
	RC-40 t=10cm	180.2	m2	
一场/11 / M / M / M / M / M / M / M / M / M	KC-40 t-10cm	100.2	IIIZ	
	As舗装 t=4cm	180.2	m2	
WI THINKE	TOTAL V TOTAL	100.2		
	4t 10.0km	1.9	m3	
残土処分費	土砂	1.9	m3	

### 桑西水源場内整備工 数量表

名称		計算式			数量	単位
  1. 資材						
直忍付フェンス	H=1.8m	(48.88+13.20+13.20+13.20)-3.0×4箇所	=	76.480	76.5	m
フェンス基礎ブロック	$\square 250 \times 450$	76.48÷2m	=	38.240	39	個
門扉	H=1.8m W=3.	0m			4	組
門扉基礎ブロック	□400×600	2×4箇所	=	8.000	8	個
門扉基礎ブロック	□200×200	1×4箇所	=	4.000	4	個
2. 労務						
フェンス設置工	H=1.8m	(48.88+13.20+13.20+13.20)-3.0×4箇所	=	76.480	76.5	m
(基礎工事費含む) フェンス門扉設置工	H=1.8m W=3.	0m			4	箇所
(基礎工事費含む) フェンス撤去工	H=1.8m	10.66	=	10.660	10.7	m
3. 土工						
基礎掘削	フェンス基礎 □250×450	0.45×0.45×0.55H×39箇所	=	4.344		
	門扉基礎 □400×600	0.60×0.60×0.70H×8箇所	=	2.016		
			計	6.360	6.4	m3
砕石基礎	フェンス基礎 □250×450	t=10cm 0.45×0.45×0.10H×39箇所	=	0.790		
		t=10cm 0.60×0.60×0.10H×8箇所	=	0.288		
			計	1.078	1.1	m3
基礎埋戻	フェンス基礎 □250×450	4.344-0.25×0.25×0.45H×39箇所	=	3.247		
	門扉基礎 □400×600	2.016-0.40×0.40×0.60H×8箇所	=	1.248		
			計	4.495	4.5	m3
場内路盤	RC-40 t=10cm	図面より 147.800+10.800+10.800+10.800	=	180.200	180.2	m2
場内舗装	As舗装 t=4cm	図面より 147.800+10.800+10.800+10.800		180.200	180.2	m2
残土処理工	4t 10.0km	6.360 - 4.495	=	1.865	1.9	m3
残土処分費	土砂		=	1.865	1.9	m3